

今回の学校だよりでは、12月13日(火)に行いました本校第38回の音楽会を中心に紹介します。今年の音楽会は学年ごとではありますが、保護者の方にご観覧いただくことができました。2つの学年は体育館で、1つの学年は教室で鑑賞するというローテーション方式ではありますが、3年ぶりに全校で開催することができました。2学期になると音楽室から歌声が聞こえるようになりました。クラスでの練習や学年ごとのリハーサルを見ましたが、どのクラスも本番の出来栄が一番良かったように思いました。各クラスの紹介メッセージも担任や音楽の先生への感謝、クラスの仲間と一緒に頑張りたいという気持ちが込められていました。



第I部は1年生です。どのクラスも1年生らしい元気な歌声でした。中学校最初の音楽会をクラスで力を合わせ一生懸命取組もうという気持ちが伝わってきました。第II部は2年生です。リハーサルでは恥ずかしさや照れくささといった部分も感じられましたが、本番では見事に仕上げられました。2年生は成長に個人差が見られる時期で、声を合わせて、一つにまとめるというのが難しいと感じていますが、どのクラスもよくまとまり頑張ってくれました。第III部は3年生です。3年生になると力強い声ときれいな声のハーモニーや歌詞に込められた意味を考えながら歌っていると感じました。何よりも中学校最後の音楽会を成功させよう、楽しもうという気持ちがどのクラスからも伝わってきました。



各学年で金賞、銀賞、銅賞と順位はつきましたが、どのクラスも頑張ってくれたと思います。講評では審査いただいた大谷一仁先生から、本校の音楽会を楽しみにしていたことや、各クラスともコロナ禍の影響を感じないくらいよくできていたと感想をいただきました。特に3年生では賞の審査

が大変難しかったことや、クラスみんなの心が一つにならないとこれだけの合唱はできないという講評をいただきました。準備から当日の運営をしてくれた音楽委員の皆さんもありがとうございました。素晴らしい音楽会になりました。



※ 香芝市の「少年の主張」の作文コンクールの審査が先日おこなわれました。たくさんの応募の中から本校1年生の中尾颯太君が優秀賞に選ばれました。テーマは「学校にVR技術を取り入れたい」というテーマです。12月3日に香芝市青少年健全育成市民集会において表彰があり、作文発表をしてくださいました。

※ 本校東館の1階ロカにクリスマスツリーが飾られています。年の瀬19日からの個人懇談が終わると2学期の終業式を迎えます。担任と学校生活の振り返りや、これからの目標、課題の確認をお願いします。たくさんの行事があった2学期ですが、保護者の皆様のご理解ご協力のおかげで無事に終わることができました。ありがとうございました。

躍

今年はどうな1年でしたか。色々な出来事がありました。私は大リーグエンゼルスの大谷翔平選手やサッカーワールドカップの日本代表の活躍が印象に残っています。大谷選手は今年も投打の「二刀流」で昨年を上回る成績を残してくれました。特に今年は投手としての15勝がすごいですね。まさに期待通りではないでしょうか。サッカー日本代表も活躍してくれました。予選リーグで強豪のドイツ、スペインにいずれも2対1で逆転勝ちしたことは記憶に新しいところだと思います。世界レベルで日本のサッカーが戦えることを証明してくれました。私はスポーツが好きなので日本選手の活躍には感動と勇気もらっています。これからも世界を目指す日本人はどんどん増えていくでしょう。「躍」は私が選んだ今年を表す漢字です。本校の皆さんも今年1年、さまざまな場面で活躍してくれました。特に部活動と学校行事の頑張りが印象に残っています。「今、東中めっちゃやええ感じやねん」でしたね。今年の冬休みは例年より少し長く、3学期は1月10日(火)が始業式となっています。ゆっくり休みからだの充電もおこなってください。良い年末年始を迎えてください。来年もよろしくをお願いします。

東風(こち)、次回に続く

